

炭酸泉を作ることが仕事です！



T
Lotus Promotion
2sys

人工炭酸泉の新しい形 ティーツーシステムとお呼びください

特許第 5563160 号

登録第 5616502 号

<http://t2sys-lotus.jp>

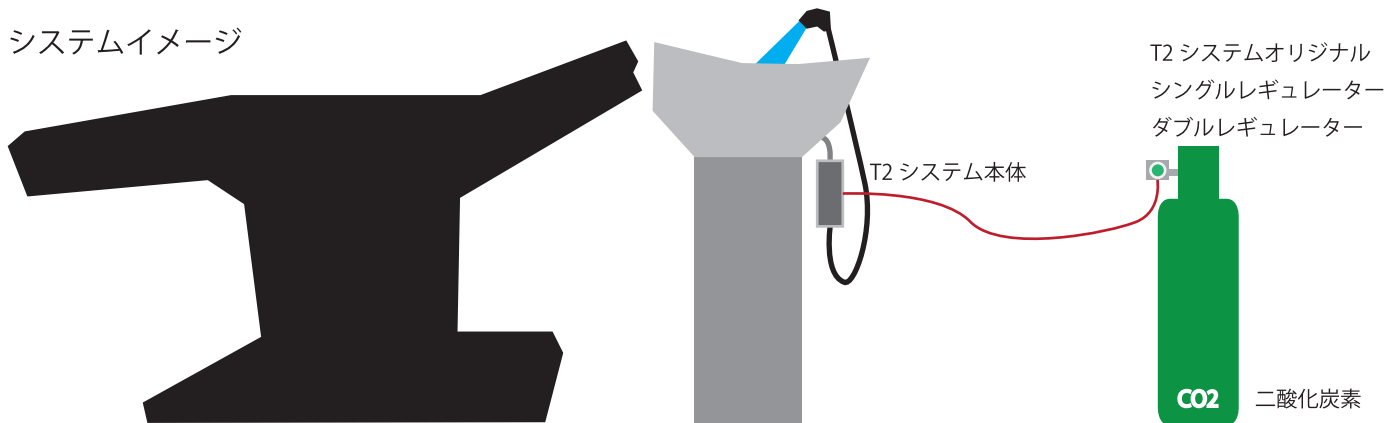
炭酸の 3 大効果とは！

- ①肌や髪を本来あるべき姿に戻し
- ②余計な汚れを落とし
- ③血行を促進させる

T2 システム設置イメージ



システムイメージ



T2sys(ティーツーシステム)とは、シャワーの根元に炭酸混合機器を設置して、そこに二酸化炭素を流し込み、人工的に炭酸を製造するシステムのことです。

お湯と二酸化炭素を混合させるモノを基本セットといい、大まかに2つのパーツから成り立っています。

- ① 混合部分（基本セット）、T2 システム本体の部分です。
- ② 二酸化炭素供給部分（ボンベ及びレギュレーター）

レギュレーターとは減圧弁のことを言います。

ガスボンベの圧力は恐ろしく高く、そのままでは使用できません、そこで二酸化炭素をお湯に混合できる圧力まで下げる必要があります。

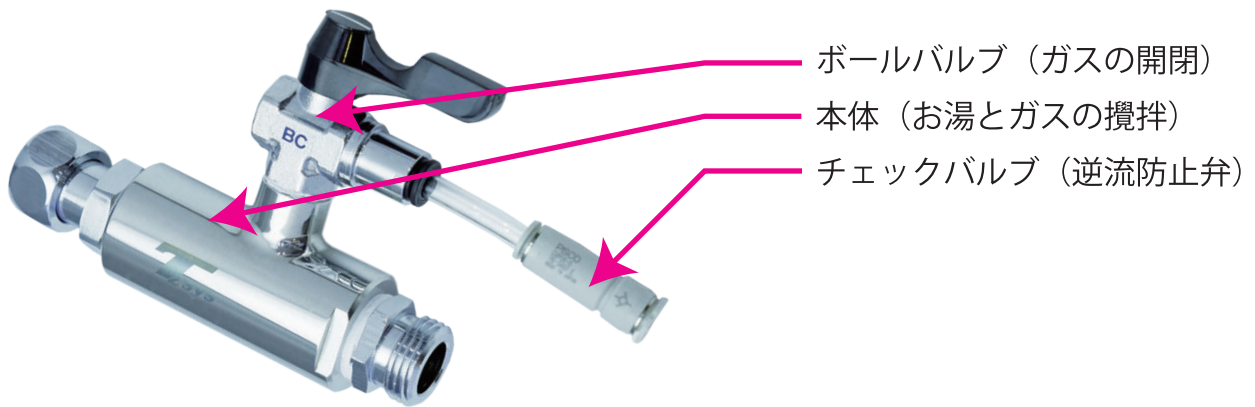
この減圧をする機械をレギュレーターといい、1台のシャンプー一台に供給する減圧弁をシングルレギュレーターと言います。

また、1本のボンベから2台のT2 システム本体に供給レギュレーターをダブルレギュレーターといい、サロンの需要に合わせてチョイスできます。

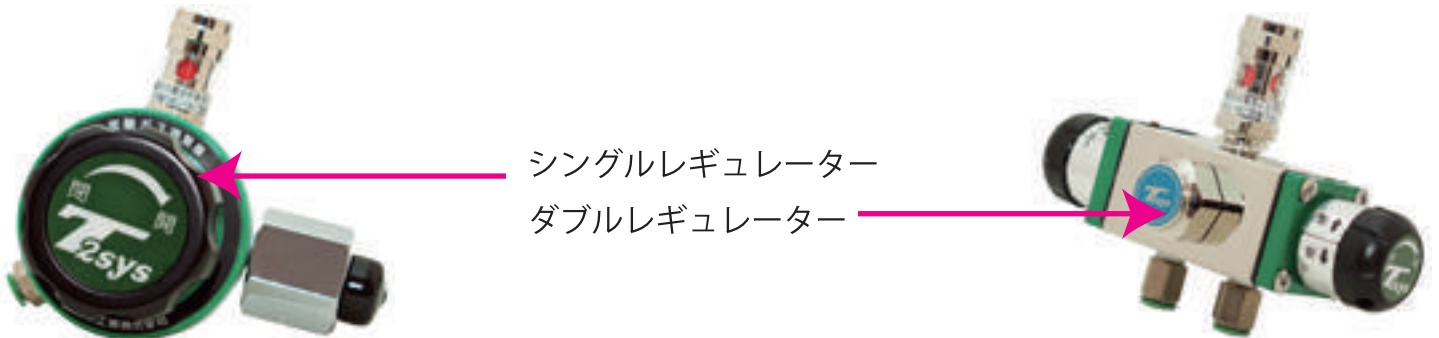
炭酸泉を作るのに最低限必要なもの

- ❶ T2sys 基本セット (シャンプー台 1 台につき 1 セット)
- ❷ レギュレーター (シングル or ダブル)
- ❸ 二酸化炭素ガスボンベ (5 kg or 10 kg)

① T2sys 基本セット (T2sys 本体部各部名称)



② レギュレーター



③ 二酸化炭素ガスボンベ



10 kgボンベ
直径 20.5cm
高さ 70cm

5 kgボンベ
直径 16.5cm
高さ 55.5cm



※ ボンベの配送及び取引は専門業者
フクシマオーツースに委託。
手配はいたします。

その他に必要なもの

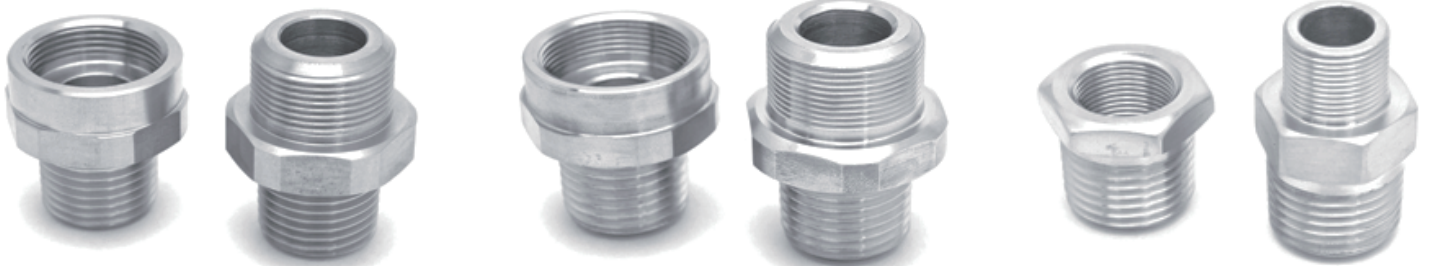
- ④ 専用ウレタン耐圧チューブ（希望に合わせて切り売りいたします）
- ⑤ シャワーホースアタッチメント（必要でない機種もあります）

④ 専用ウレタン耐圧チューブ



専用ウレタン耐圧チューブは T2sys 本体とレギュレーターを結ぶ炭酸ガスの配管になります。直径 6mm のチューブになりますが、必ずこの耐圧チューブをご使用ください。サロンによって、ボンベと T2sys 本体の距離を離して配置したり様々ですので、必要なメートル数をお知らせください。希望に合わせて、1メートル単位で販売いたします。

⑤ シャワーホースアタッチメント



W24-16 山

W24-20 山

ワールドビジョン用
3/8 インチ

シャワーホースの留め金（シャンプー台側のネジ）はメーカーによって、また同一メーカーでも製造時期によって規格が違います。最近では規格統一されて参りましたが、それでも何種類かのネジが存在いたします。また、同じ径でもネジ山（ピッチ）の違いにより、取り付けが可能なものもあれば、取り付けができないモノも存在します。

T2sys を購入される際には必ず、お問い合わせください。サロンのシャンプー台に適合した組み合わせでお見積もりいたします。

T2sys を取り付けできないシャンプー台はありません。

あると便利なもの（オプション）

- ⑥ フットスイッチ
- ⑦ ボンベケース
- ⑧ 炭酸シェーカー
- ⑥ フットスイッチ



T2sys 基本セットは手動で二酸化炭素のガス開閉を行います。フットスイッチは文字通り、踏むことによって、ガスの開閉を行うことができるツールです。

ロック機構で、一度踏んだらガスは出続けて、もう一度踏むとロックが解除されてガスが止まる仕組みになっています。

- ⑦ ボンベケース



ステンレス製の美しいボンベケースです。

3ピース構造になっており、簡単にボンベの出し入れが可能です。

キャスター付きですので、楽に移動もできます。

※（注文生産）納品まで2～3週間かかります。

1 本体構成部品

① T2sys 本体構成パーツ



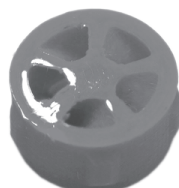
② スクリューの位置

本体にはスクリューが付属しています。
 スクリューは予め本体にセットされています。
 スクリューには裏表はございません。



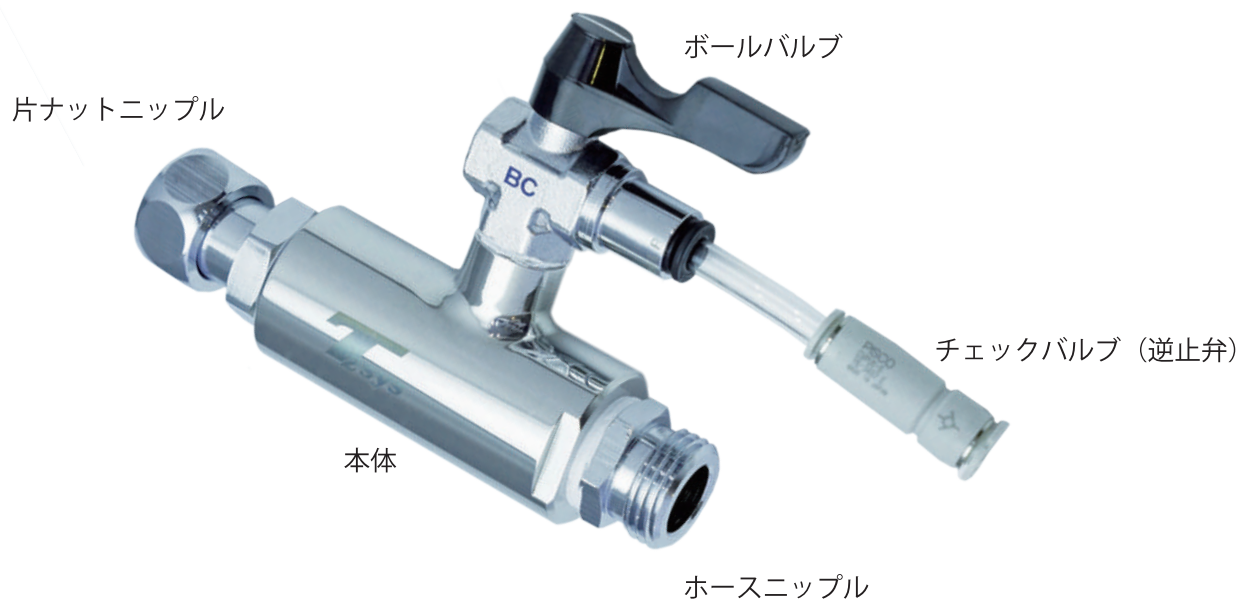
スクリュー位置
 本体を上部から見た位置

樹脂製スクリュー

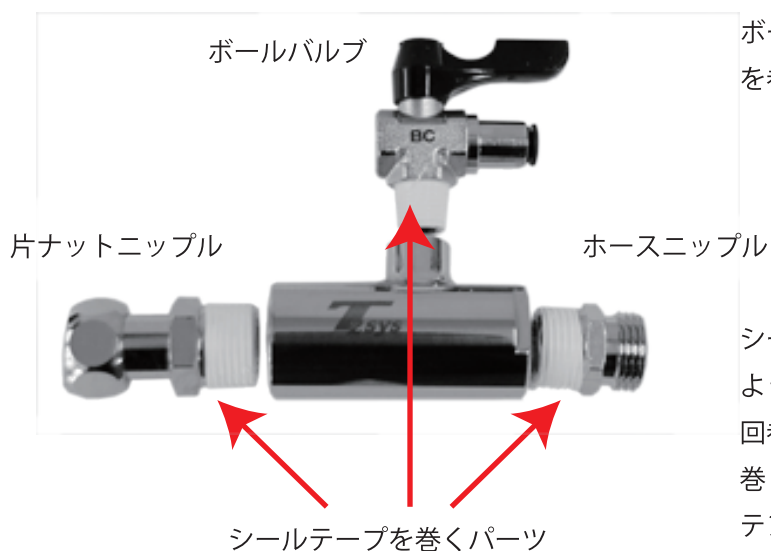


2 本体の組み立て

① 完成イメージ



② シールテープの巻き方と、巻くパーツ



T2sys 本体に片ナットニップル、ホースニップル、ボールバルブを取り付ける場合は必ずシールテープを巻いてください。

シールテープは写真のように、時計回りに4～5回巻いて下さい。

巻くときは、ネジの山にしっかり密着するようにテンションをかけて緩まないように巻いてください。本体から水漏れがあった場合、シールテープを巻き直してください。



2 本体の組み立て (2)

③ シールテープ続き



シールテープを巻くと、片ナットニップルとホースニップルが完全に本体に入りきらない場合がありますが、無理をしないで回らなくなったところでやめてください。

シールテープの目的は、水漏れを防ぐためネジの隙間を埋める事です。片ナットニップル及びホースニップルが本体に完全に入りきらなくても、水漏れがなければ大丈夫です。

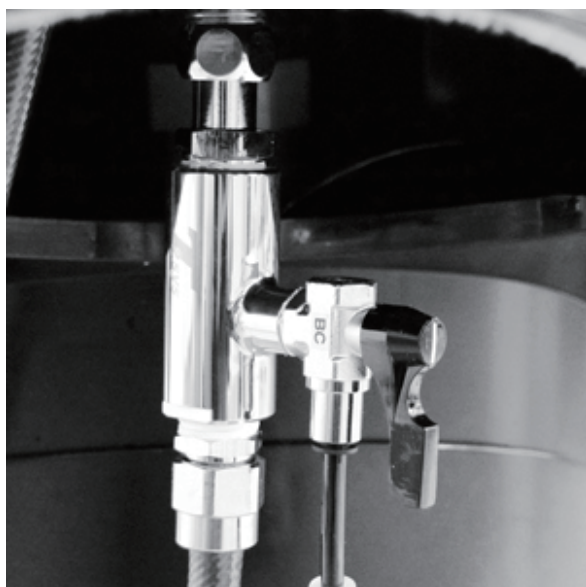
※実際に写真のようにネジが余っても、水漏れがなければ全く問題ありません。

④ ボールバルブ

付属のボールバルブはエルボータイプといい、垂直にチューブを出せる形状になっています。

ボールバルブは、写真のようにバルブのつまみが縦になっている場合がオンで、横に（T2sys 本体と垂直）に回すとオフになります。

オン：炭酸添加



オフ：通常シャワー



2 本体の組み立て(3)

⑤ チェックバルブ (逆止弁)

チェックバルブとは水流の逆流を防ぐ弁のことでボールバルブのすぐ下に取り付けます。



取付ける際にはチェックバルブの向きにご注意下さい。

チェックバルブに刻まれている溝の長い方がボールバルブ側にきます。

専用チューブを5センチぐらいカットして、差し込むだけで装着できます。

※ チェックバルブは消耗品です、1年に1回取り替えて下さい。

⑥ 専用チューブ (6mm 耐圧ウレタンチューブ)



専用チューブは1メートル毎の量り売りになります、サロンで必要な長さをお申し付け下さい。

専用チューブのカットにはカッターやチューブカッターをご利用下さい。

※ハサミでカットするとチューブが潰れてエア漏れの原因になりますのでご注意ください。

チューブのセッティングについて

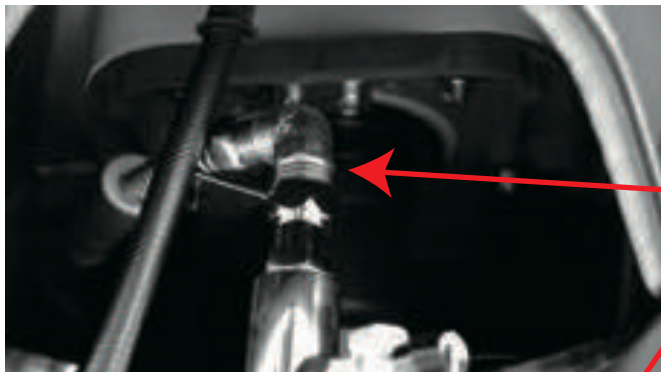


各パーツともチューブフィッティングという仕様になっております。

これはチューブを差し込むだけで固定される仕組みで、一度さしこんだら抜けにくい仕組みになっております。

チューブを抜く際には、各パーツのチューブ差し込み口にあるリングを押し上げながら抜くようにして下さい、無理矢理引き抜くと破損の原因になりますので、ご注意ください。

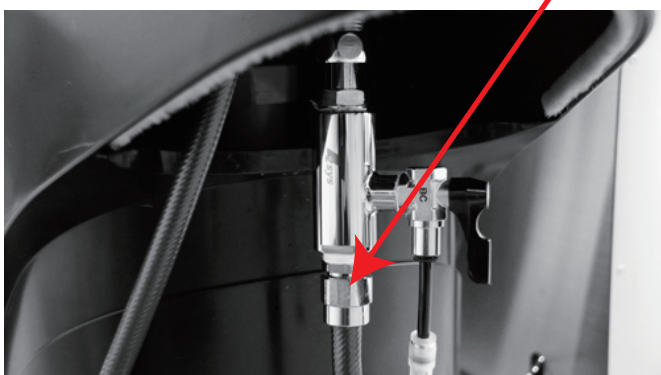
3 シャンプー台への組み込み



シャンプー台への組み込みは、先ずシャワーホースを外し、今までシャワーホースの付いていたところに T2sys を組み込みます。

シャワーホースの根元に付け足す感じです。

外したシャワーホースは、T2sys のホースニップル部分に再装着してください。



最近のシャンプー台はシャワーホース側が袋ネジになっています。

シャンプー台側は写真のように 6 ネジが切られていますので、片ナットニップルの袋ネジ部分に、13 ミリパッキンを入れてネジを回し、最後にモンキーレンチなどでしっかり締めてください。

元々付いていたホースにも 13 ミリパッキンは入っていますので、T2sys のホースニップルに再装着すれば完了です。



13 ミリパッキン

13 ミリパッキンの位置



※ シャワーホースについている 13 ミリパッキンが劣化していた場合はホームセンターの水道コーナーで簡単に入手できます。

※ パッキンの劣化は水漏れの原因になりますので交換用にいくつかご用意ください。

T2sys の組み立てについて

3-2 色々なシャンプー台への組み込み



最新のシャンプー台への取り付けは比較的簡単にできます。

バックシャンプー台等はシャンプー台背面にシャワーホースの取り付け部分が露出しているために、簡単にホース交換できる仕様になっています。

T2sys は基本的にホース交換と同じプロセスで取り付けを行うために、この手のシャンプー台は止水することなく誰でも取り付けが可能です。

市販されているシャンプー台は多岐にわたっています、製造メーカー、製造時期によってシャワーホースの留め金の規格が違う事があります。ここでは、いくつかのパターンをご紹介します。

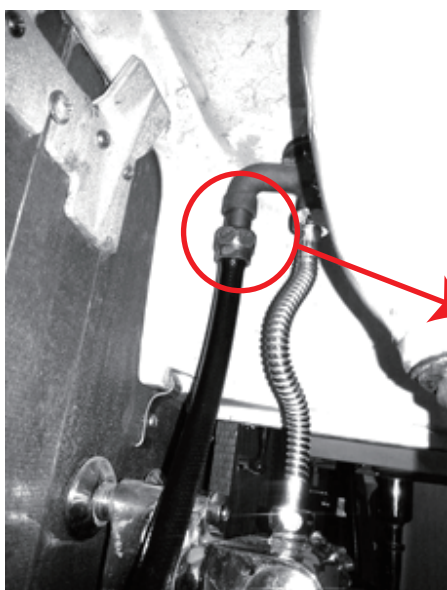


サイドシャンプー台

サイドシャンプー台は最もポピュラーなシャンプー台です。ポピュラーなだけに各社の仕様が最も違うシャンプー台です。

サイドシャンプー台は写真の通り、壁面に設置されていて、シャワーホースの出口はシャンプーボールの真下になります。

写真のシャンプー台は、横型ベルサーモといい、下のサーモスタットで水と湯を混合してフレキ管（銀色の蛇腹部分）でコックに送り、コックを回すことでホースに通水する仕組みです。



写真のネジがシャワーホースの取り付けネジになります。

このネジの径が各社の仕様で様々なのが問題です。

大抵このタイプのネジは **W24** という特殊な規格です。T2sys 側は **G1/2 (13 ミリ平行ネジ)** ですので口が合いません。

また W24 というネジ規格にはネジ山（ピッチ）が違う 2 種類が存在するのです。

ネジ山が 20 山 W24-20 山

ネジ山が 16 山 W24-16 山

3-3 径の違うシャワーホースへの対応



先ほどの W24 というネジ規格はとても特殊な規格で、JIS 規格にはありません。
したがってホームセンター等にある異形ニップル（変換ネジ）には対応していませんし、ホームセンターでの購入も不可能です。

そのため T2sys は専用の変換ネジを作成いたしました。

変換ネジのタイプは

W24-16 山

W24-20 山

ワールドビジョンタイプ (3/8 インチ)

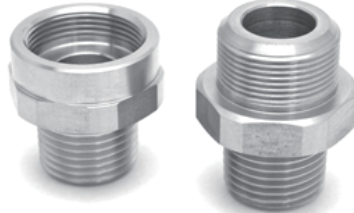
です。



W24-20 山



W24-16 山

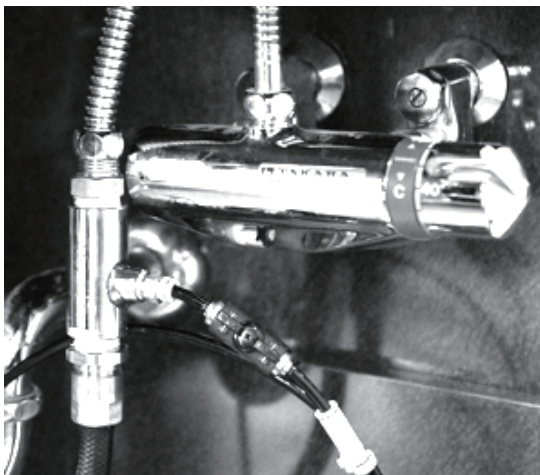


ワールドビジョン 3/8 インチ



※ご注文の際には、シャンプー台のメーカー型番、年式、シャワーホースの根元の写真等で判定いたします。
※市販されている 8 割近くはこのオプションで取り付け可能ですが、中にはこれらのタイプでも取り付け不可能なシャンプー台も存在します。不安な場合は代理店もしくは弊社までお問い合わせください。

フレキパイプ&W24-20 山取り付け例



フレキパイプ

写真の変換ネジは下側が T2sys 本体に直付けできるように 1/2 インチ (13 ミリ) になっています、また市販のフレキパイプ (13 ミリ) にも対応できますのでサイドシャンプー台など奥が狭くて取り付けスペースが確保できない場合はホームセンター等で各自フレキパイプをご用意ください。

4 機械式フットスイッチ



機械式フットスイッチは足で踏むだけで炭酸のオンオフができ、電源を使用していないためにシャンプー台の足元に設置が可能です。

ロック機構が備わっており、一度踏めば炭酸オン、次に踏むまで炭酸がで続けます。

もう一度踏むと炭酸はオフになり、通常のシャワーに戻ります。



フットスイッチの背面には二つのチューブ差込み口があります。

イン側にはレギュレーターから来たチューブを差し込んで下さい。

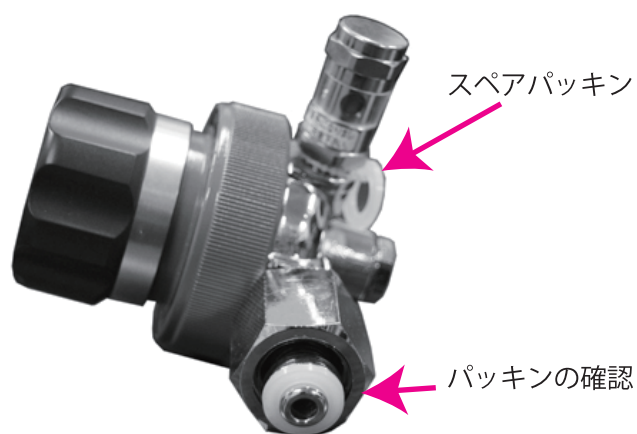
アウト側には T2sys 本体に向かうチューブを差し込みます。

- ※ フットスイッチを使用する場合は、T2sys 本体のボールバルブはオンの状態のままにしてください。
- ※ フットスイッチから水漏れする場合は、チェックバルブを新しい物に交換してください。
- ※ フットスイッチを使用しない場合は、レギュレーターから来たチューブを直接 T2sys 本体のチェックバルブにつないでください。

5 レギュレーター（減圧弁）



写真はシングルレギュレーター



レギュレーター（減圧弁）とは、炭酸ポンベの圧力を調整し、適正な圧力でT2sysに供給する言わばシステムの心臓部に当たるパーツです。

炭酸ポンベは二酸化炭素を液化して大きな圧力で閉じ込めています。そのままでは圧力が高すぎて使用できないので、T2sysで利用できる適正圧力まで減圧する必要があります、それを担うのがこのレギュレーターで、用途に合わせて3種類のレギュレーターをご用意しております。

装着手順1 パッキンの確認

先ずポンベに装着するまえに、パッキンを確認してください。

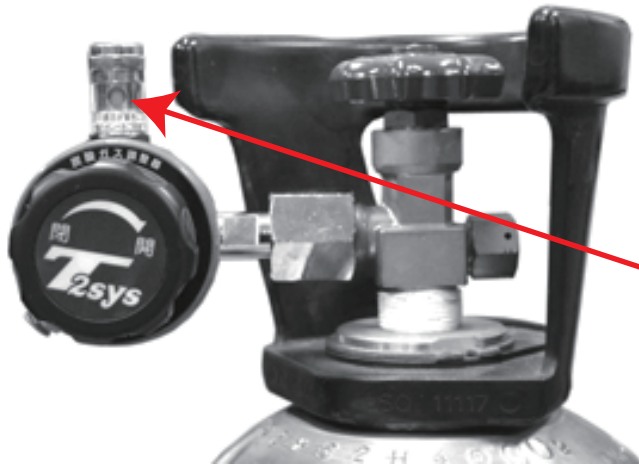
袋ネジの中にある白いプラスチックのリングがパッキンです。

このパッキンは外れやすいのでご注意ください。

パッキンがないままレギュレーターを装着するとガス漏れの原因になりますので、ご注意ください。

5-2 レギュレーター（減圧弁）

装着手順3 レギュレーターの位置



レギュレーターは写真のように調節ダイヤルを正面に向けて装着してください。

この時残量計の位置は上に来ます。

残量計

装着手順4 レギュレーターテスト



① ボンベのメインバルブを開ける前に、レギュレーターのメモリが0になっている事を確認してください。

② ボンベのメインバルブを開けます。
この時反時計回りにバルブを回し、開けきってください。



ボンベメインバルブ



メインバルブを開けると残量計が赤から緑に変わります。

この段階でガス漏れが無いかご確認ください。



ガス漏れが無いか確認後、レギュレーターの調節ダイヤルを回してみてください。

ここの部分からガスが出ます。

ガスが出ているのを確認したら、レギュレーターのメモリを0に戻してください。

これでテスト完了です。

5-3 レギュレーター（減圧弁）

シングルレギュレーター

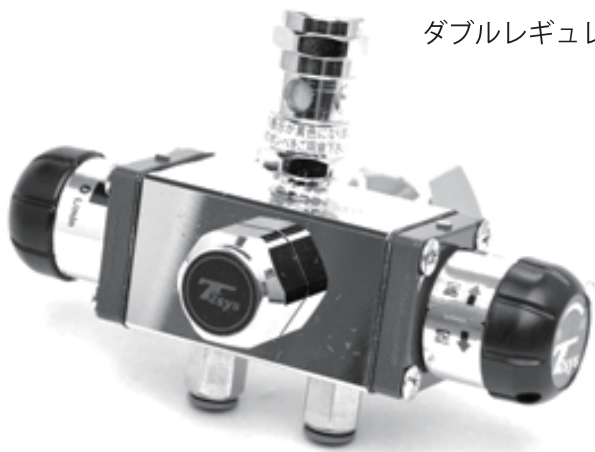


1本の炭酸ボンベで1台のT2sysを使用する時に選択。
家庭用も視野に入れて長時間使える仕様にしてあります。

ガスの配給方式は流量型で、1分間に流れる炭酸ガスの使用量を節約できます。

炭酸の使用頻度が高いサロンにお奨めです。

ダブルレギュレーター



1本の炭酸ボンベで2台のT2sysを使用する時に選択。
シングルレギュレーターより短時間使用に向きます。

ガスの配給方式は流量型で、1分間に流れる炭酸ガスの使用量を節約できます。

コストパフォーマンスを重視するサロンにお奨めです。
ボンベを置くスペースが少ないサロン向けです。

1本の炭酸ガスボンベを2台で使用するため、使用頻度高いサロンではボンベ交換の時期が早まります。

ハイブリッドレギュレーター



1本の炭酸ボンベで1台のT2sysと、炭酸シェーカー
もしくはペットボトルオプションを使用する時に選択。

左のダイヤルがT2sys用の流量仕様。

右のダイヤルは炭酸シェーカー等高濃度炭酸、炭酸ジェル
などを作成するための圧力仕様になっています。

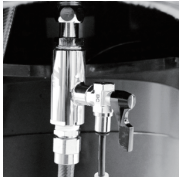
現在圧力仕様のレギュレータはハイブリッドのみになります。

※ レギュレーター取り付け及びチェック方法は3-2で示した手順と一緒です。

6-1 T2sys 設置後のテスト

T2sys の組み立て、レギュレーターの設定が完了しましたら、1-1 の概略にしたがって、チューブを接続します。チューブの配管が終了しましたら、以下の手順で T2sys の始動テストを行います。

フットスイッチがある場合



- ① T2sys 本体のボールバルブがオンになっているか確認してください。



- ② 炭酸ポンベのメインバルブをオープンにしてください。



- ③ レギュレーターのダイヤルを 15~20 にセッティングしてください。

- ④ シャワーのコックをひねり、お湯を出してください。



- ⑤ フットスイッチを踏んでください。

これでお湯に二酸化炭素が混合され炭酸泉になります。

炭酸にならない場合、どこかのバルブが閉じているか、チェックバルブの向きを再確認してください。

勢が強すぎる場合は、レギュレーターのダイヤルで調整してください。

pH メーターをお持ちのかたは、pH4.5~4.8 になるように調整してください。

pH メーターをお持ちでなくても、音がすこしうるさくなる感じで十分に炭酸化されていますので、片手を洗って左右の手の感触の違いを体験してみてください。

フットスイッチをオフにして、シャワーを止めればチェック終了です。

6-2 T2sys 設置後のテスト

T2sys の組み立て、レギュレーターの設定が完了しましたら、1-1 の概略にしたがって、チューブを接続します。フットスイッチがない場合はフットスイッチをバイパスしてレギュレーターから T2sys 本体のチェックバルブに直接チューブをつないでください。

フットスイッチがない場合



- ① T2sys 本体のボールバルブがオフになっているか確認してください。

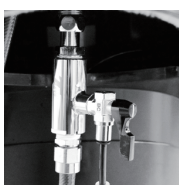


- ② 炭酸ポンベのメインバルブをオープンにしてください。



- ③ レギュレーターのダイヤルを 15~20 にセッティングしてください。

- ④ シャワーのコックをひねり、お湯を出してください。



- ⑤ ボールバルブをオンにしてください

これでお湯に二酸化炭素が混合され炭酸泉になります。

炭酸にならない場合、どこかのバルブが閉じているか、チェックバルブの向きを再確認してください。

勢が強すぎる場合は、レギュレーターのダイヤルで調整してください。

pH メーターをお持ちのかたは、pH4.5~4.8 になるように調整してください。

pH メーターをお持ちでなくても、音がすこしうるさくなる感じで十分に炭酸化されていますので、片手を洗って左右の手の感触の違いを体験してみてください。

ボールバルブをオフにして、シャワーを止めればチェック終了です。

⚠ 注意 水漏れについて

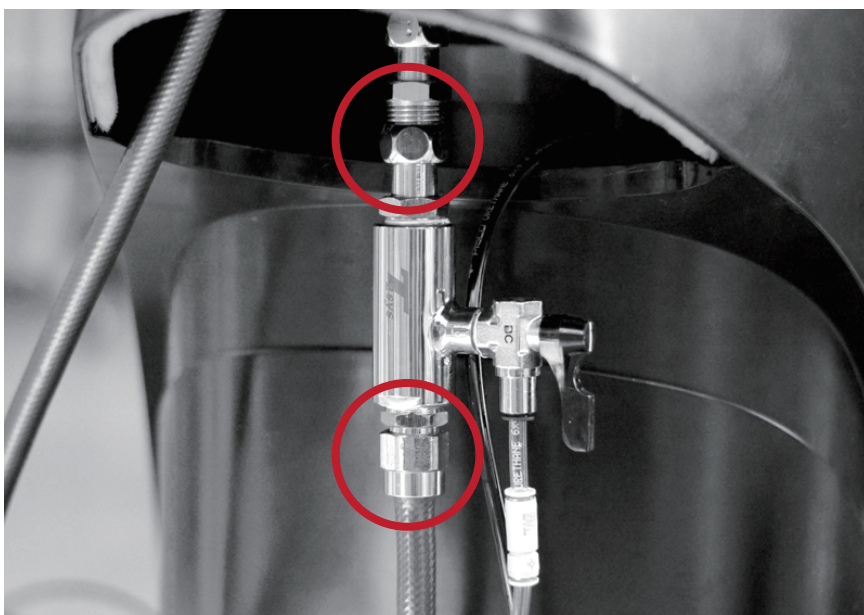
T2sys はシャワーホースの根元に設置する関係上、水栓（シャワーコック）を閉じた状態では水漏れはいたしません。

シャワーコックをオープン状態で、シャワー使用中に水漏れが起こる場合、以下の原因が考えられます。

- ① ネジの緩み
- ② パッキンの劣化
- ③ 逆止弁の破損
- ④ ボールバルブの破損
- ⑤ 6ミリチューブの折れ曲り

● 原因と対策

T2sys を使用中に下記の箇所から水漏れがあった場合。



●原因は

- ①ネジの緩み
- ②パッキンの劣化です。

設置から時間が経つとシャワーホースの振動などでネジが緩む場合があります。

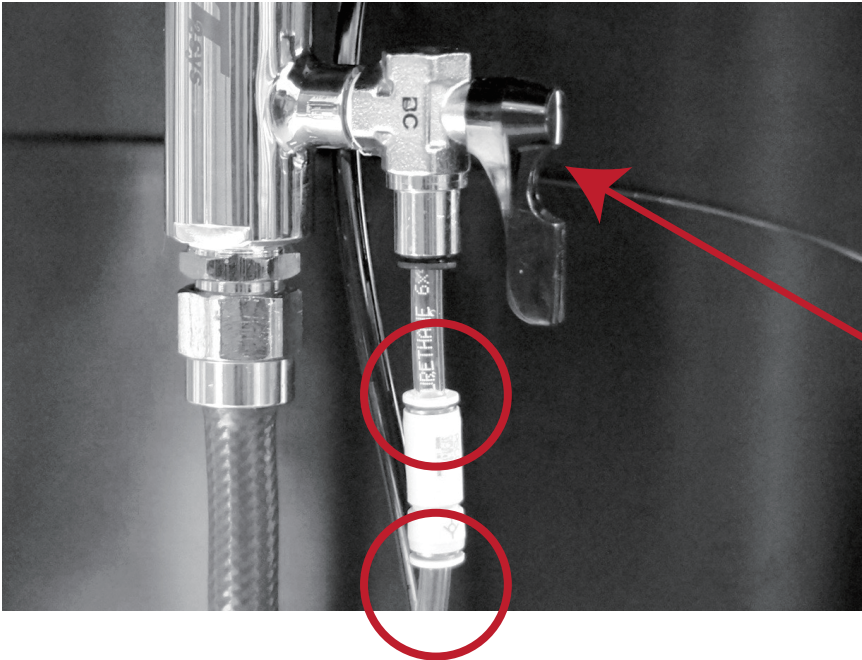
モンキーレンチ等でしっかり締め直してください。

ネジを閉めても水漏れが止まらない場合はパッキンが劣化している恐れがありますのでパッキンの交換をお願いします。

※パッキンはホームセンターなどに売っている 13 ミリパッキンで対応できます。

⚠ 注意 水漏れについて

T2sys を使用中に下記の箇所から水漏れがあった場合。



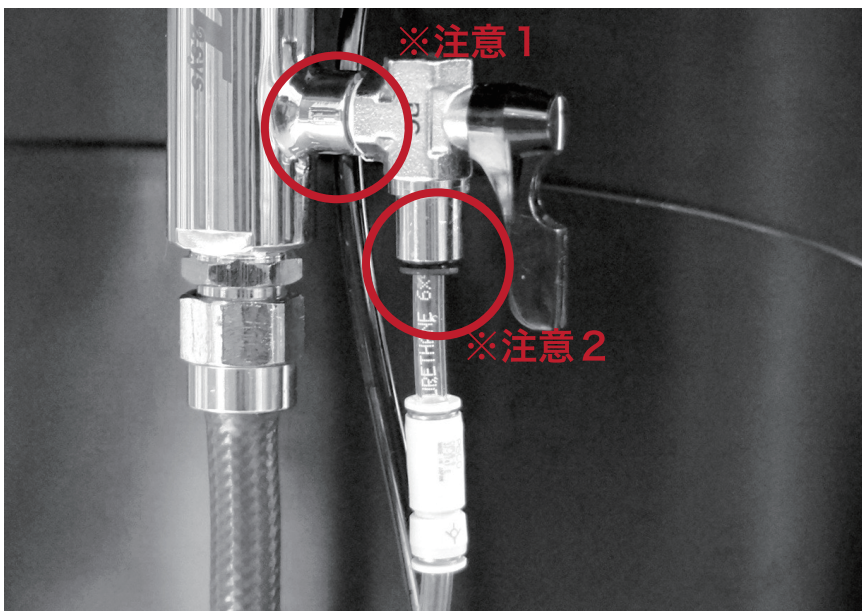
●原因は

③逆止弁の破損です。

逆止弁は水の逆流を防ぐために設置されていますが、消耗品です。必ず壊れますので、症状が現れましたら、一旦使用は中止してバルブを閉じてください。

そして速やかに逆止弁を交換してください。

※逆止弁が破損した場合、担当代理店もしくはロータスプロモーション本社までご連絡ください。



●原因は

④ボールバルブの破損です。

ボールバルブは炭酸ガスのオン・オフを司る装置ですが、ここから若干水が逆流します。

そのために逆止弁が設置されているのですが、この部位からの水漏れはボールバルブ自体が壊れた可能性があります。

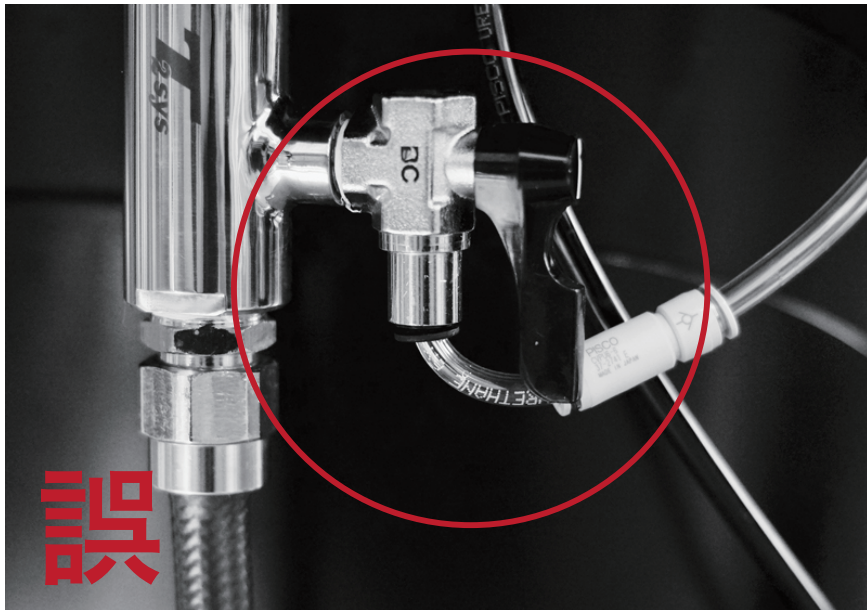
※注意 1 この部分からの漏水はボールバルブが緩んで起こります、ボールバルブを閉め直しても解決しない場合は、ボールバルブの破損が考えられます。

※注意 2 この部分からの漏水はチューブのささりが甘いか、チューブの折れ曲りが原因で起こる場合があります。

※バルブが破損した場合、担当代理店もしくはロータスプロモーション本社までご連絡ください。

⚠ 注意 水漏れについて

6ミリチューブの捻れ、折れについて。



写真のように極端に6ミリチューブが折れたり捻れている場合。

チューブの差込口から水漏れやガス漏れの危険性があります。

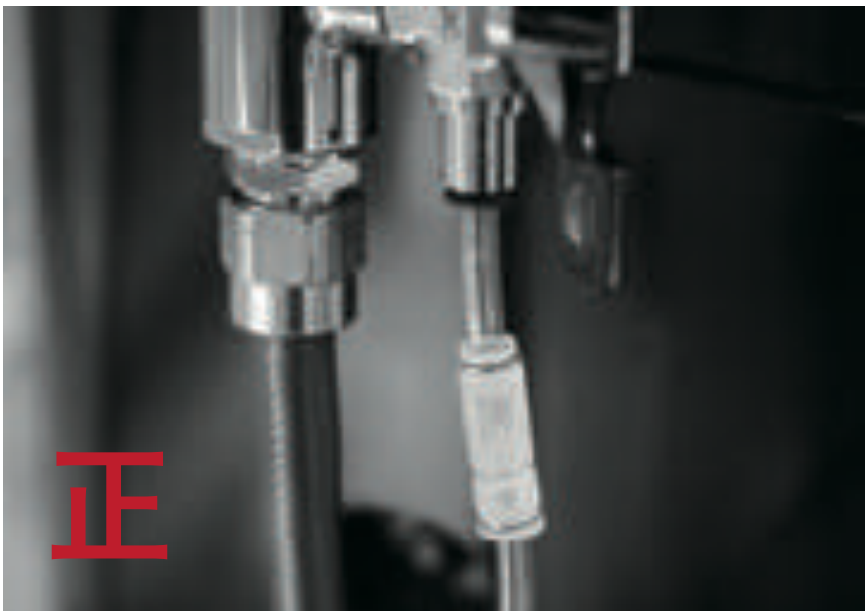
6ミリチューブは消耗品ですので、定期的な交換をお勧めいたします。

6ミリチューブは全てチューブフィッティングという形式で接続されています。

奥までカチッと差し込むだけで大丈夫ですが、接続部分に折れや捻れがないように設置してください。

チューブを足で引っ掛けたり、物理的な負荷がかからない限り、そうそう壊れるものではありません。

設置には充分注意してください。また運用に関しても、チューブには充分なご注意をよろしくお願いいたします。



※チューブが破損した場合、担当代理店もしくはロータスプロモーション本社までご連絡ください。

⚠ 注意 水漏れについて

●その他 フットスイッチからの漏水について



フットスイッチからの漏水はほぼ逆止弁の破損が原因です。

フットスイッチから漏水している場合は速やかに逆止弁を交換してください。

またフットスイッチも消耗品ですので不具合やガス漏れがある場合は速やかに取り替えをお願いいたします。

※フットスイッチが破損した場合、担当代理店もしくはロータスプロモーション本社までご連絡ください。

●この表記以外の水漏れについて

水漏れの箇所がここに書かれている以外で発生した場合は、シャンプー台、シャワーホース、シャワーヘッドのパッキンや不具合によって生じるものです。

この表記以外の水漏れに関しましてはシャンプー台のメーカーにお問い合わせください。

また消耗品による水漏れに関しましては保証の対象外になりますので、ご注意をお願いいたします。

※T2sys における消耗品とは、各種ゴムパッキン、逆止弁、6 ミリチューブ、フットスイッチボールバルブ、レギュレーターを指します。

安全にご使用頂く為に定期的な点検をよろしくお願いいたします。

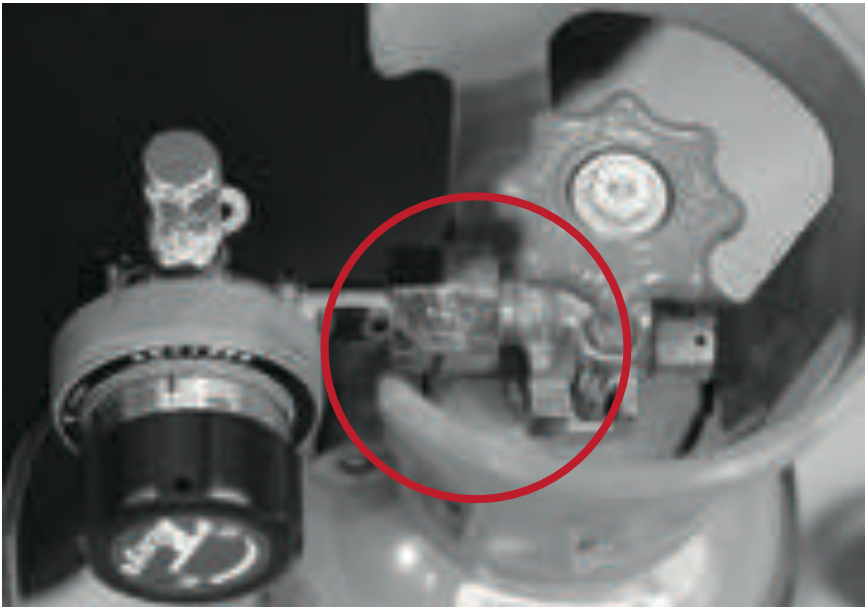
⚠️ 注意 ガス漏れについて

T2sys は炭酸ポンベより炭酸ガスを供給してシャワーの根元部分で混合しますが、以下の原因でガス漏れが発生することがあります。

- ① レギュレーターのパッキン紛失
- ② レギュレーターの破損
- ③ 逆止弁の破損
- ④ ボールバルブの破損
- ⑤ 6 ミリチューブの破損
- ⑥ フットスイッチの破損

● 原因と対策

T2sys を使用中に下記の箇所からガス漏れがあった場合。



●原因は

- ①パッキンの紛失及び劣化
- ②レギュレーターの破損

更には、ネジの緩みが考えられます。

ポンベを交換した時にちゃんとレンチ等で締めましたでしょうか？

ここの締めが甘いとガス漏れの原因になります。

※ポンベ交換時にちゃんとレンチ等で締めたにもかかわらずガスが漏れる場合は次項を参考にしてみてください。

⚠️ 注意 ガス漏れについて

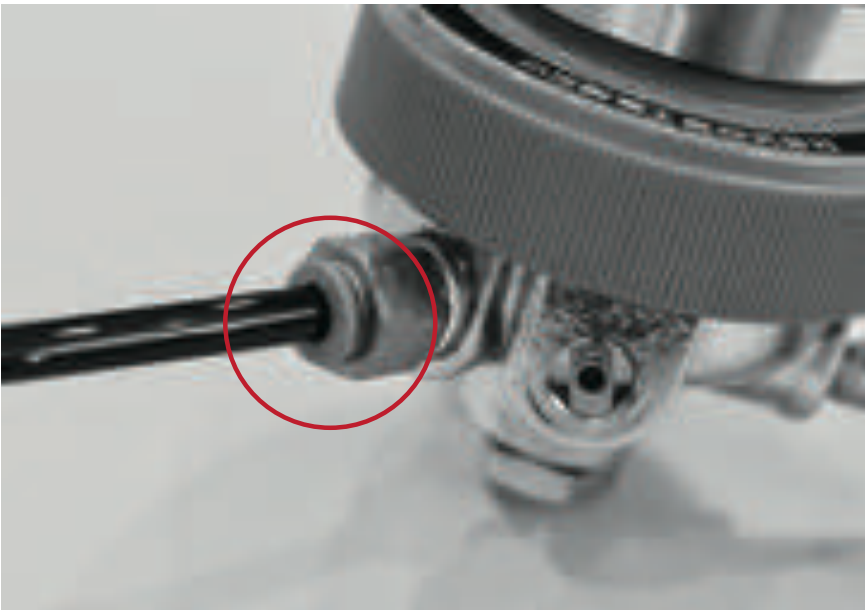


- ① レギュレーターのパッキン紛失
レギュレーターとボンベの接続箇所には必ず白いパッキンが付いています。

ボンベ交換によりこのパッキンを紛失するケースがありますが、パッキンを紛失すると100%ガス漏れが起こります。

パッキンは予備が付属しておりますので、紛失したら必ず交換をお願いいたします。

※パッキンの劣化や損傷でもガス漏れを起こしますので、紛失して予備が見当たらない場合は速やかに使用を中止して、担当代理店もしくはロータスプロモーションまでご連絡ください。



- ② レギュレーターの破損

レギュレーターは精密部品です。ボンベの転倒によるレギュレーターの破損事故も多いです。パッキンやボンベの接合部以外でのガス漏れは、物理的な衝撃によるレギュレーターの破損が考えられます。

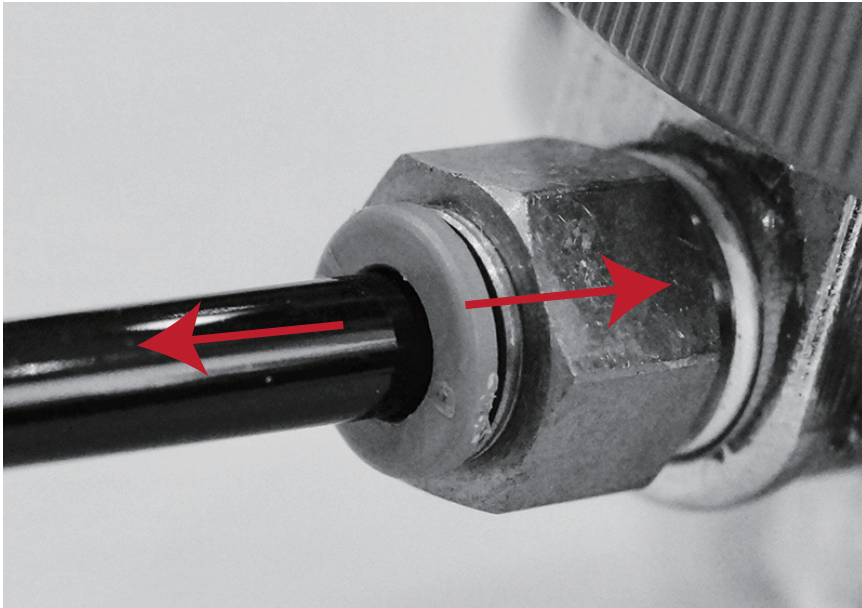
特に、赤丸で囲ってあるチューブの接合部は壊れやすく、無理やりチューブを引っ張ると破損する恐れがあります。

※ レギュレーターからのガス漏れは事故に繋がる恐れがありますので、速やかに使用を中止して担当代理店もしくはロータスプロモーションにご連絡ください。

⚠️ 注意 ガス漏れについて

② レギュレーター破損について

レギュレーターは精密部品ですので、破損した場合ご自身での修理は不可能です。
高圧を調整する器具ですので、破損した場合は直ちに使用を中止してください。



レギュレーターからチューブを外す場合は、差込口のリングを押し上げながらチューブを引き抜くと外れますが、無理やり引っ張るとリング部分が破損する恐れがあります。

またチューブの切り口が斜めだったり、チューブがつぶれた状態で差し込んだり、チューブが折れた状態での使用は事故の原因になりますので、ご注意ください。

※安全弁に関して

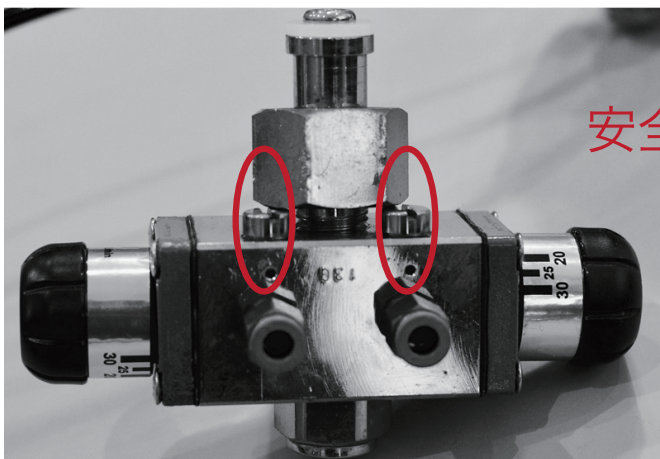
レギュレーターはボンベ内の圧力を調整する安全弁が付いています。

これはボンベの破裂を防ぐ為に、高温でボンベ内の圧力が異常になった場合に作動します。

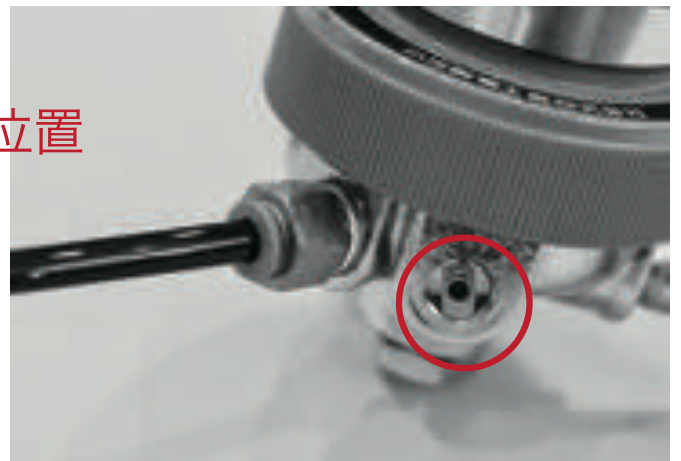
この穴からガスが出た場合は換気をよくして、ガスが止まるまでボンベには近づかないでください。

スプリング形式でボンベの内圧が落ち着いた場合、元に戻りますので慌てず対応をお願いします。

また、何度もここからガスが出る場合は使用を中止して代理店もしくはロータスプロモーションまでご連絡ください。

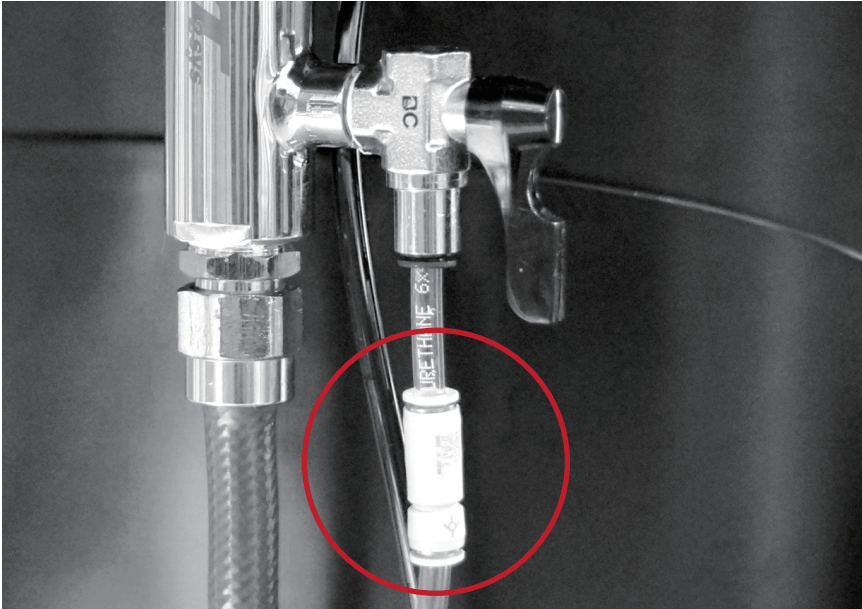


安全弁位置



⚠️ 注意 ガス漏れについて

③ 逆止弁の破損



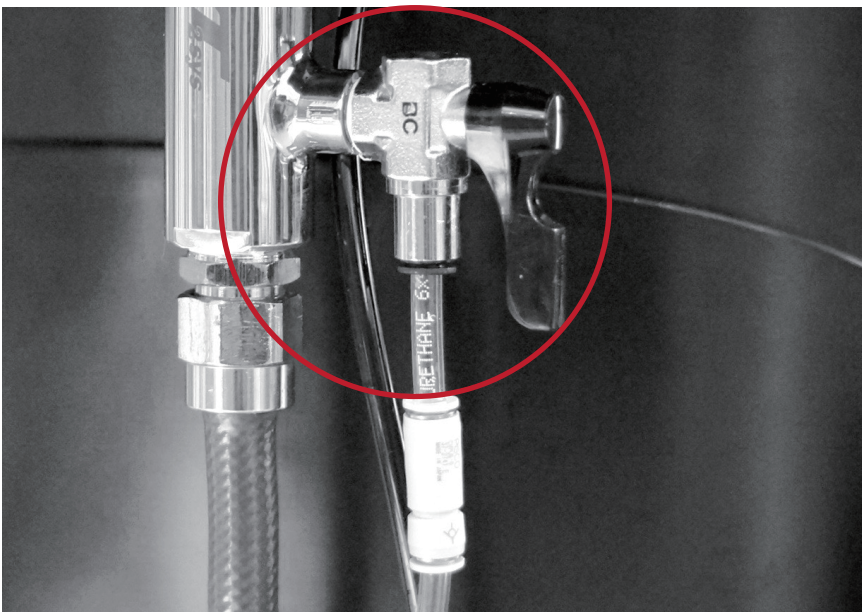
逆止弁は消耗品です。

逆止弁が破損するとガスが出なかったり、逆止弁とチューブの接合部よりガス漏れが起こります。

ガスが出なかったり、チューブの接合部分よりガス漏れがある場合は、直ちに使用を中止して交換をお願いいたします。

自転車のタイヤのパンクチェック同様に接合部にジェルや水をつけると、漏れている場合は気泡が生じますので、定期的に点検をお願いします。

④ ボールバルブの破損



ボールバルブも消耗品です。

ボールバルブはガスのオンオフを司るパーツですが、機械式のために長年使用すると金属疲労により、ガスが漏れる場合があります。

ボールバルブのチューブ接合部もチューブフィッティング機構といい、チューブを差し込むだけで接続できる仕組みになっていますが、レギュレーターの口の部分と同様に、リングを押し上

げながら引き抜くと、チューブを外すことができます、これは逆止弁も同様です。無理やり引っ張ると故障の原因になりますので、取り扱いにはご注意ください。

⚠️ 注意 ガス漏れについて

⑤ 6ミリチューブの破損



6ミリチューブは真っ直ぐカットしてください。

写真のように切り口が斜めだったり折れ曲がった状態で使用しますとガス漏れの原因になります。

6ミリチューブは消耗品です。

長年使用していると材質が硬くなり、経年劣化で破損しやすくなりますので、漏れがあるか定期的にチェックが必要です。

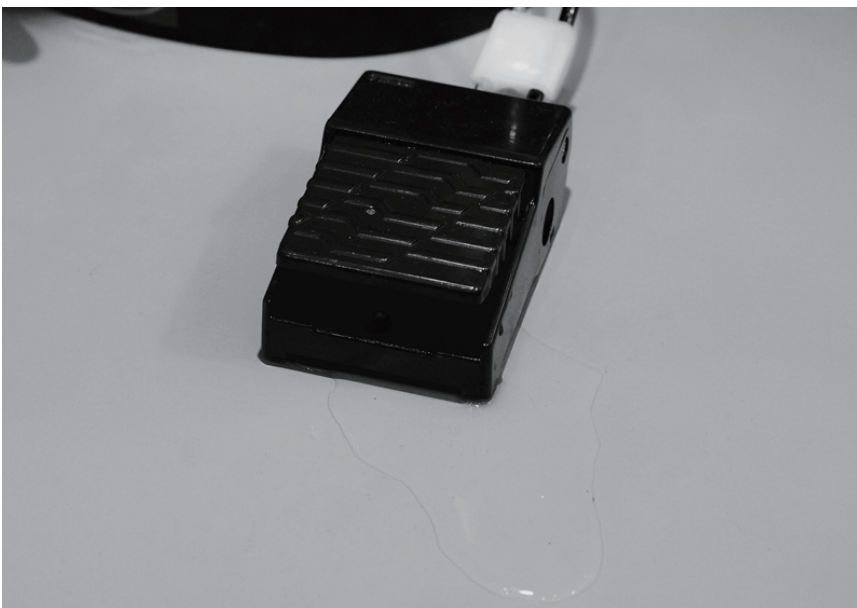
ガスが流れる音について。

チューブ内をガスが流れる時にシューッと音がします。

ガス漏れでなくても音がする場合がありますので、気になる場合はジェルや水をつけて気泡が出るか確認をしてみてください。

パンク修理の要領です。

⑥ フットスイッチの破損



フットスイッチも消耗品です。

機械部品なので長年使用していると疲労による損傷が出ます。

水漏れの項目でも書きましたが、踏んでもガスが出ない場合は、逆止弁の故障が疑わしいです。

またボールバルブがオフの状態でも踏んでもガスは出ませんので、ガスが出ない場合はボールバルブもチェックを入れてください。

※ガス漏れは複合的な要因もありますので、疑わしいところはチェックしてください。

ガス漏れを確認した場合、速やかに使用を中止して所定のパーツの交換をお願いいたします。

注意 ガス漏れについて

⑦ フットスイッチの破損 -2

複合的な要因

逆止弁破損により、フットスイッチ内より、ガス漏れ。

逆止弁が破損した場合、フットスイッチに異物が混入して不具合を起こすことがあります。フットスイッチの弁に異物が詰まり、ガスがもれ続ける症状です。

問題なく使用できる感じですが、ガスの消費が異常に早い場合はもれ続けている可能性があります。

逆止弁は壊れやすいので定期的な交換が望ましいです。

このように複合的に破損することがありますが、サロンの使用頻度によって交換時期は変わります。

定期的な点検を行い、異常が確認された場合は速やかに使用を中止して所定のパーツの交換をお願いいたします。